

# 選ばれる地域大学へ

山梨大学 工学部 メカトロニクス工学科 4年

小林 寛明

# 理想の大学像

開かれた環境

学習内容・探求活動の充実

学業・生活・進路のサポート

# 教員・学生へのヒアリング

理想の大学像を達成するためのヒアリング

山梨大学教員・県内高校教員・大学学生の計 6 名

- ・ 地方大学への進学を決めた理由（学生）

- ・ 地方学生が都市部へ流出する原因

- ・ 地元学生への進学を促す効果的な取り組み

# 大学教授へのヒアリング

## 県外への流出

## 取り組み

大学教授  
(山梨大学)

学生の持つ都市部への  
あこがれや、保護者の  
十分な教育を与えたい  
という考え

学部・学科の再編時に  
学問分野数を増加させ、  
選択肢の増加を図る

サテライトキャンパス  
の様な、大学での学び  
に都市部での活動を含  
める試み

大学准教授  
(山梨大学)

都市部の持つ、職、人  
間関係、文化体験の圧  
倒的な選択肢の多さ

「都会のオプション価  
値」の地方での再現  
都市部での学習や活動  
のサポート

# 高校教員へのヒアリング

## 県外への流出

## 取り組み

高校教員  
(担任)

学部学科のバリエーション・定員人数が都市部に比べて少ないため

地元高校生の参加が容易なワークショップや公開講座

県内の高校生が利用できる入試枠の増設

高校教員  
(管理職)

学びたい学部学科が都市部にあるため

ニーズが高く魅力ある学部学科の設置

# 学生へのヒアリング

## 進学理由

## 県外への流出

## 取り組み

県外出身学生  
(工学部 4 年)

受験方法が自身に  
合っていたため

大学の数による選  
択肢の多さ

高校生へのアプ  
ローチの方法の増  
加

県内出身学生  
(工学部 4 年)

他県と比較して高  
いレベルの教育を  
受けることができ  
るため

自分の学びたい分  
野の学科がない場  
合

都市部にあって県  
内にない学科の設  
置

# 地域大学の抱える課題

## 地元学生の流出

- ・ 地域大学の学生の減少
- ・ 県内の人材不足の加速

## 学部・学科の選択肢の幅

- ・ 都市部の大学と比較した際の学部・学科など学ぶ内容の選択肢の少なさ

# 課題解決のための施策

短期版Miraiプロジェクト

地域を越えたキャンパスの拡大

授業体験・オープンキャンパスの拡充



# 短期版Miraiプロジェクト

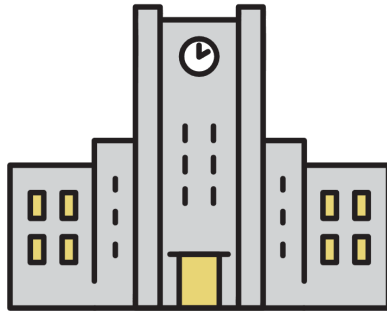
山梨県内の「Miraiプロジェクト」の様な  
企業・自治体の体験活動に、夏季休暇などの短期間参加する

## 「短期版Miraiプロジェクト」の実施

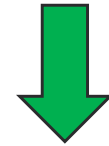
- ・ 高校生への対象の拡大
- ・ プロジェクトへの参加ハードルの低下
- ・ プロジェクトの人手不足の解消



# 地域を越えたキャンパスの拡大

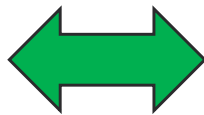
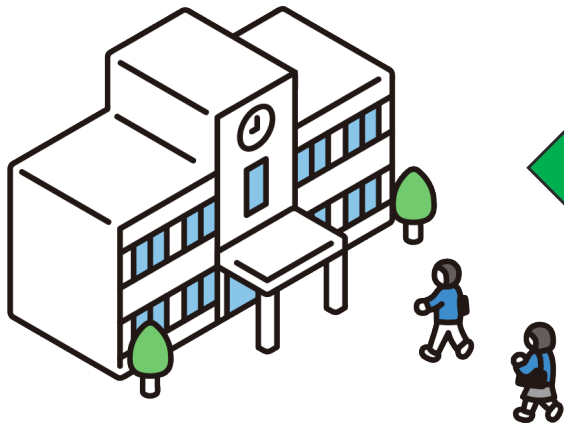


都市部への**流出**を防止



都市部の**利点**を地域でも  
**享受**できる環境

- ・ 他県の大学との連携
- ・ 県外での学習サポート



# 授業体験・オープンキャンパスの拡充

- ・ 大学からの**出前授業**の対象範囲の拡大
  - ・ **オープンキャンパス**の対象年齢の拡大
- 大学受験前から、地元小中高生と大学の関係を深める
- 大学の学びの専門性やその面白さの周知

